

【中学生の部】

大切な自転車を守るために

白河市立白河第二中学校3年 村田 彩寧

大切な自転車。

祖父母が私のためにと通学用の自転車を買ってくれた二年前の三月。私は買ってもらったその日から、早く自転車に乗りたくて仕方ありませんでした。これから三年間、もしくはそれ以上の時間をこの自転車と共に学校や塾に行くことになると思うと、大切にしなければならないという強い気持ちが芽生えました。

私には兄が二人いて、兄たちも自転車を利用して登校していました。そんな兄たちの姿を見ていた私は、自転車で登校することへの憧れをもっていました。

私がまだ小学生で、自転車を買ってもらう前のある日、六歳年上の兄が自転車を利用して友達と遊びに行きました。夕方、帰ってきた兄が少し悲しそうな顔をしていて、その日の出来事を話してくれました。事情を聞いたところ、友達の自転車が盗まれてしまったということです。近くを探してみると少し離れた所にある田んぼに乗り捨てられた自転車があり、その自転車は間違いなく友達のものでした。二人はひどくショックを受けていました。その話を聞いた私は、そんなひどいことをする人がいるのだと悲しい気持ちになりました。一方で、怒りの感情がふつふつとこみ上げてきました。

私が中学生になって自転車通学をするようになってから、以前聞いた話のおかげで自転車の鍵を取り忘れることはほとんどありません。また、少しの間なら大丈夫と油断してしまうこともありません。

しかし、自転車の盗難被害は中々なくなりません。最近、通学路で乗り捨てられた自転車を見つけました。自転車を盗まれた人は自転車の鍵を取り忘れたのだと思います。その自転車が、私のように家族に買ってもらったり、毎日働いて自分のお給料で買ったりしたものなら、大きなショックを受けたでしょう。

自転車の盗難被害防止のいちばん良い方法としては、鍵を取ることを習慣にすることだと思います。鍵を取ることが習慣になってしまえば、取り忘れることはありません。また各学校、各施設の駐輪場に鍵の取り忘れを防止するポスターを掲示することも効果的だと思います。そのようにすれば、鍵の取り忘れによる自転車の盗難被害が減ると思うのです。

自転車の盗難被害防止には、一人ひとりの意識が深く関わっています。少しの間だけなら大丈夫やまさか自分の自転車が盗まれるはずないと油断してしまうのがとても危険です。大切な自転車を失うことのないよう、ほんの少しの意識が重要だと思います。

自転車の盗難被害をなくすことは、よりよいまちづくりにつながると私は考えます。この意識は小さな一歩かもしれませんが、大切な一歩なのではないでしょうか。